

レストラン船「銀河」によるさくらクルーズ(その3)

事務局長 池田良穂

銀河のさくらクルーズのレポートの最終回として、同クルーズで出会った船たちをご紹介します。雨と風の中でのクルーズでしたが、たくさんの船に会うことができました。



石崎汽船の広島/呉～松山航路のカーフェリー「翔洋丸」。銀河のさくらクルーズに乗船する呉からのお客さんを乗せて広島港に到着しました。



広島の大規模商業施設マリーナホップと宮島を結ぶ「Marina Hop II」。アクアネット広島が運航しています。



広島と江田島の切串を結ぶ上村汽船の「第十きりくし」。383総トン。2016年に建造された新鋭船です。広島港を出港時出会いました。



瀬戸内シーラインが広島(宇品)～プリンスホテル～宮島航路で運航する高速船「おやしお」。52総トン、24ノット。



広島港をでて宮島に行く間に出会った「すてら」。アクアネット広島が平和公園と宮島を結ぶ45分の航路に投入する、海と川の両方で活躍する高速船です。14総トン、21ノット。



JR西日本宮島フェリーが、宮島口～宮島間に運航する新鋭船「ななうら丸」。2016年に建造され、268総トン。8ノットで、航海時間は10分。



宮島口～宮島を結ぶ宮島松大汽船の「第二みやじま」。同社の5隻の運航船の中では最古参の1982年建造。199総トン。



上村汽船の「第八きりくし」とも出会いました。



宮島でUターンして南下時に反航した潜水艦。「銀河」の船長から、「珍しい船が見れますよ!」というアナウンスがあり、乗客はデッキから観覧しました。



フィーダー航路のコンテナ船と同行しました。



4202「くろべ」。海上自衛隊の訓練支援船で、AISには「KUROBE」の船名がいましたが、船種は「タグボート」と表示されていました。



瀬戸内シーラインの単胴型高速船「瀬戸」。僚船「和加」と共に、瀬戸内シーラインの運航で、広島(宇品)と江田島の切串・小用を結びます。今はなき、大阪の三保造船の建造船です。



呉港沖には大型バルク「Greta Selmer」が停泊していました。喫水が深いので荷役前のようなです。



早瀬大橋通過時に内航貨物船「勇亀丸」と反航しました。



早瀬大橋の手前で海上自衛隊の掃海艇 2 隻と反航しました。艦番号は「732」。



呉港に入る直前に「4202 くらべ」と再び遭遇しました。



続いて「731」と反航しました。



呉港を出港する石崎汽船の「翔洋丸」。広島～呉～松山航路に就航しています。



同じく広島/呉～松山航路に就航する瀬戸内汽船の「石出川」。同航路では最古参の1987年建造で、今年で船齢31才。代替が計画されています。



瀬戸内シーラインの「和加」とも反航しました。



呉をでて、広島港(宇品)に行く途中で海上自衛隊の YF2152 が追い抜いていきました。



広島港の港外で、朝に出港時に見た「第十きりくし」と再び出会いました。



石崎汽船の広島/呉～松山航路の「瑞光」。日立造船建造の水中翼で浮き上がって34ノットで疾走します。このクラスの4隻も建造から約25年になります。